

かたの瓦版

## この時、交野は動いた

### 「古代史ブームの幕開け」

1972年3月奈良県明日香村の高松塚古墳(8世紀初め)で女子群像などの壁画が見つかった。小さな古墳で発見された極彩色は全国ニュースで連日報道され、古代史ブームが幕を開けた。人口約6500人(当時)のどかな農村に、大勢の見物客が押し寄せた。一般人が考古学に関心を持つきっかけになった。しかし、壁画はその後、苦難の道を歩んだ。壁画が描かれたもろい漆喰壁の保存と、石室内に発生するカビの防除に悩まされ続けた50年であった。



西壁女子群像



古絵図高松塚古墳

絵図、何のこっちゃ? 平田村ってあるやろう それがどうした 私平田です(笑)

平田村

### 「交野古文化同好会」発足

1972年5月、交野考古学会の組織を継承し「交野古文化同好会」が結成され、初代会長に奥野平次氏が選ばれ、おもいが語られた。

神宮寺という処は旧北河内の古文化の宝庫だとほめていただく。

南から北に流れた天の川と南と東から抱きかかえる様に伸びた生駒山脈、西に香里台地をひかえ、淀川で天の川と合流しているたずまい、川は人を育て歴史を重ねて行くという言葉そのままの姿が交野市だ。

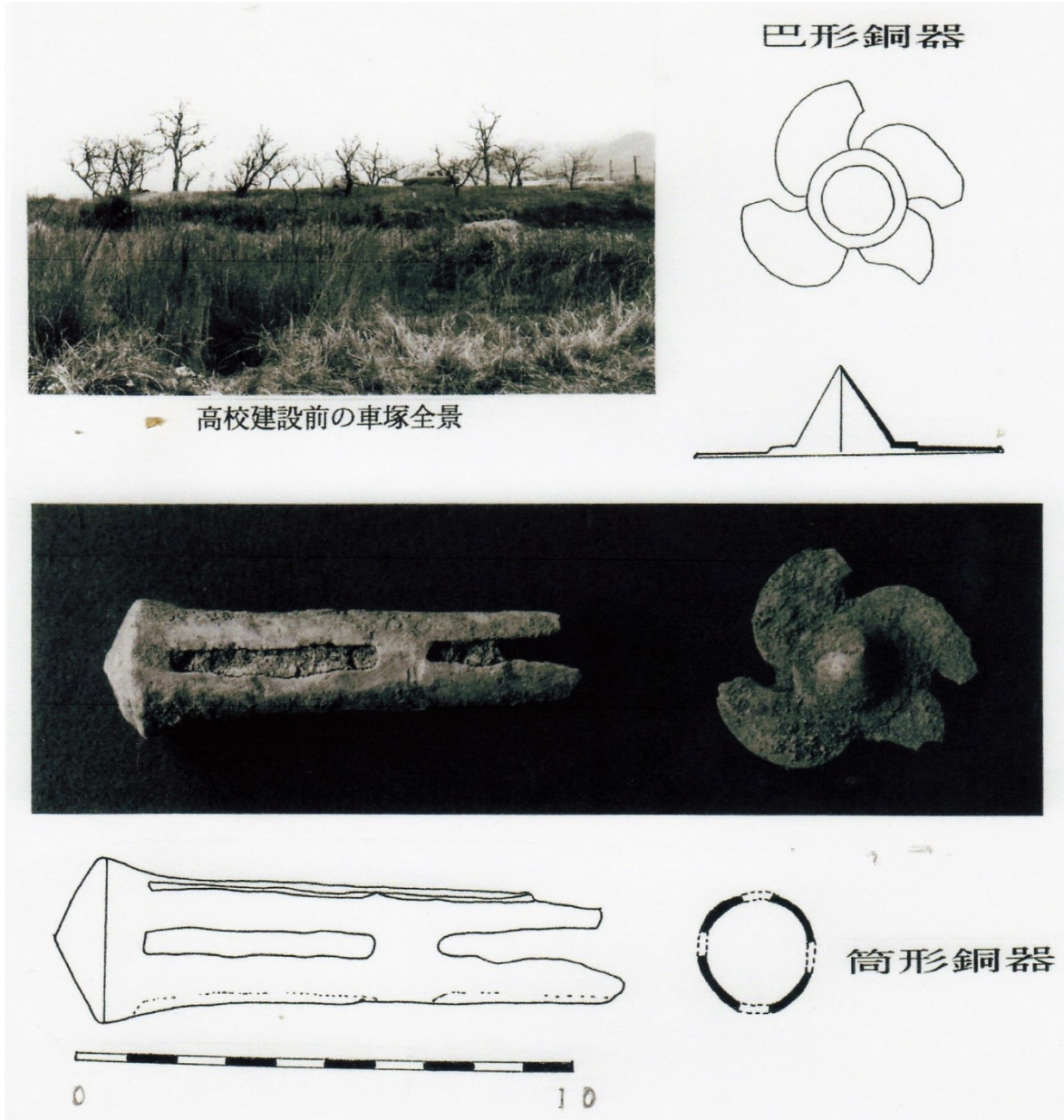
出土した遺物を守り、建設途上の土の中からの文化の跡を見失わないようにまた、大切な文化財を守り抜いてくれる次の人づくり。そのために学習を続けようとするグループ作りを長年、心の中で宿題となっていた。

この心を、よい街づくりにいかしたい。

### 「東車塚古墳の調査に参加」

1972年12月、府立交野高校建設予定地内の古墳の試掘調査が行われた。

古墳から「王者のしるし」である銅製の杖の握り部分と巴形装飾品が出土した。(調査は一旦終了)



交野に物部氏の古墳?(よみうり 48.1.12)

物部氏の祖先が「天の磐船」に乗って降臨したと日本書記などに記されている伝承地の近くであることから、敷地内の発掘調査は翌年から始まった。

「この時、交野は動いた」グループ内の交わりは新しい人と古い人とのよりよい人間関係に成長させたい。将来博物館も作りたい。

こんな思いで発足した同好会、皆様方のおかげで50周年を迎えることができました。